

## 戦没者の遺骨の伝達について

担当課	原爆被爆者援護課
担当者名	飛田、山口
電話番号	直通:095-895-2427 内線:4989

2021年2月24日更新

このことにつきまして、下記のとおり関係遺族へ遺骨を伝達することとなりましたのでお知らせします。

### 1 死亡者氏名等

- (1)氏名 野村 正敏(のむら まさとし)
- (2)本籍 長崎県
- (3)所属部隊等 佐世保鎮守府第7特別陸戦隊
- (4)階級等 海軍二等機関兵曹
- (5)死亡年月日 昭和18年11月25日
- (6)死亡場所 ギルバート諸島タラワ

### 2 遺骨受領者

- (1)氏名 野村 貞之(のむら さだゆき)
- (2)続柄 弟

### 3 伝達日時・場所

- (1)日時 2月26日(金) 15時00分頃
- (2)場所 遺骨受領者宅

### 4 特定に至った経緯

#### (1)収容状況

キリバス共和国ギルバート諸島タラワ環礁にて収容された米国DPAA(米国国防総省捕虜・行方不明者調査局)管理下のアジア系遺骨について、一昨年、米国DPAAより、日本及び韓国に対しDNA鑑定等のための検体が提供され(合計162検体を受領)、以来、日米韓の専門機関において身元特定のためのDNA分析等を実施している。

**(2)DNA鑑定の結果**

上記(1)により、厚生労働省においては、令和元年5月以降、都道府県を通じ、タラワ環礁における戦没者のご遺族の調査を行い、検体の提供を呼びかけ、ご遺族から提供された検体と米国DPAAから提供された検体の照合を行ったところ、長崎県在住のご遺族との間に親族関係が存在するとの結論が得られ、「野村 正敏」様のご遺骨と判明した。  
身元が特定されたご遺骨は、ハワイにおいて保管されていたため、新型コロナウイルスの感染拡大による渡航制限が解除された後、令和2年11月21日から27日に遺骨受領派遣団を派遣し、ご遺骨を日本へ送還したところである。